

福知山市

エネルギー・環境

基本計画

概要版



豊かな自然環境を守り、次世代に引き継ぐために、一人ひとりの環境に対する意識を高め、集まり、共有し、発信し、活動することをめざし、本市ではこれまで2期にわたって「環境基本計画」を策定し、市民とともに環境を守り・育む活動を展開してきました。

今、環境問題は世界的な規模で、大きな危機感をもって取り組まれるべき最重要課題となっています。今の生活様式を続けていくこと自体が、温室効果ガスを排出し、地球規模での温暖化を招き、ひいては私たちの身近な生活環境すらおびやかされていく、そんな将来予測が現実味をもって語られています。温暖化の進行は、猛暑日や大雨の大幅な増加をはじめとする気候変動をもたらすことが予測されており、厳しい水害との闘いの歴史を有する本市において、市民の安心・安全を守り次世代に引き継ぐ上で、環境問題への取組は必要不可欠です。

このたび策定した、第3期環境基本計画にあたる「福知山市エネルギー・環境基本計画」について、市民・事業者の皆さんに広く知っていただくため、本冊子（概要版）を作成しました。

いま、世界では・・・

- 人間の活動によって排出される二酸化炭素(CO₂)をはじめとする温室効果ガスにより地球の温暖化が大きな問題になっています。
- 温暖化がこのまま続いた場合、猛暑や洪水などの異常気象による被害の増加、熱帯の感染症の拡大、海面水位の上昇、生物多様性の損失、食糧生産の減少などの恐れが指摘されています。
- 2015年のパリ協定では、世界共通の長期目標として、産業革命前からの世界の平均気温上昇を2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求することが合意されています。
- この実現に向けて、世界各国が取組を進めており、120以上の国と地域が2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、「カーボンニュートラル」という目標を掲げています。

頻発する森林火災



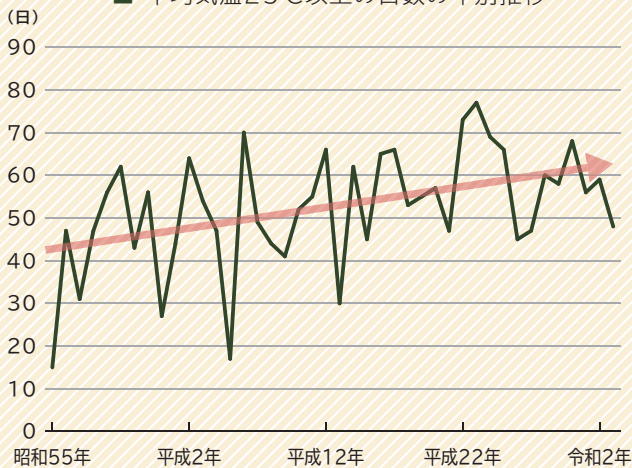
海面上昇による水没



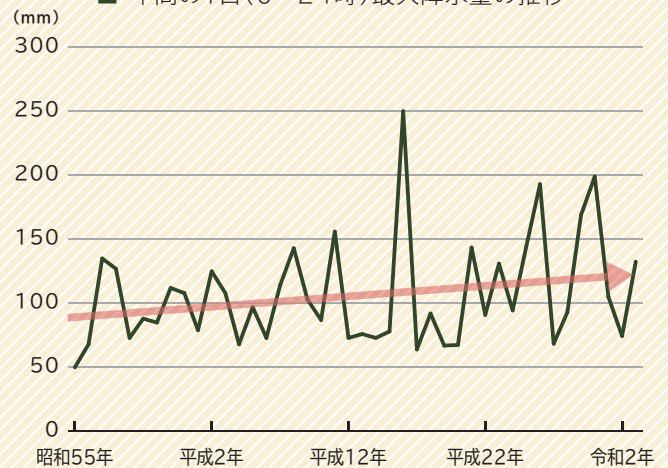
福知山市でも・・・

- 平均気温の上昇や大雨の増加など、地球温暖化の影響は気象データに現れています。

■ 平均気温25℃以上の日数の年別推移



■ 年間の1日(0～24時)最大降水量の推移



平成16年の台風23号による被害(大江町)

- 京都地方気象台の予測によると、今後地球温暖化が進行した場合、京都府においては年平均気温が100年で約4℃上昇(猛暑日が年間50日程度増加)、1時間降水量50mm以上の発生回数が100年で2倍以上に増加といった影響が示されています。
- 豊富な自然環境に恵まれる一方で、厳しい水害との闘いの歴史を有する本市においても、環境問題は他人事ではなく、住み良いまちを次世代に引き継ぐために取り組むべき課題です。

これまでの福知山市の取組

市民協働による 環境保全活動



- 本市では、これまで2期にわたって「環境基本計画」を策定し、市民とともに環境を守り・育む活動を展開してきました。



福知山環境会議の活動

脱炭素社会への取組に向けた宣言

- 脱炭素社会に貢献できる行動、サービス、商品等を賢く選ぶ「クールチョイス(賢い選択)」を呼びかける「COOL CHOICE宣言」や、2050年までに二酸化炭素(CO₂)排出量実質ゼロとすることを掲げる「ゼロカーボンシティ宣言」など、地球温暖化防止のための積極的な発信を行ってきました。



ゼロカーボンシティロゴの決定(令和4年11月)

再生可能エネルギーの導入

- 「地域貢献型再生可能エネルギー事業の推進に関する協定」に基づき、地域新電力会社たんたんエナジー株式会社や金融機関など5者が連携し、市内公共施設で太陽光発電設備により発電された電気を、当該公共施設が使用する地産地消の取組を始めています。
- 市庁舎をはじめとした公共施設において、再生可能エネルギー由来の電力(再エネ100電力)を導入しています。
- 公用車にEV(電気自動車)の導入を進めています。



北陵地域公民館の太陽光発電設備

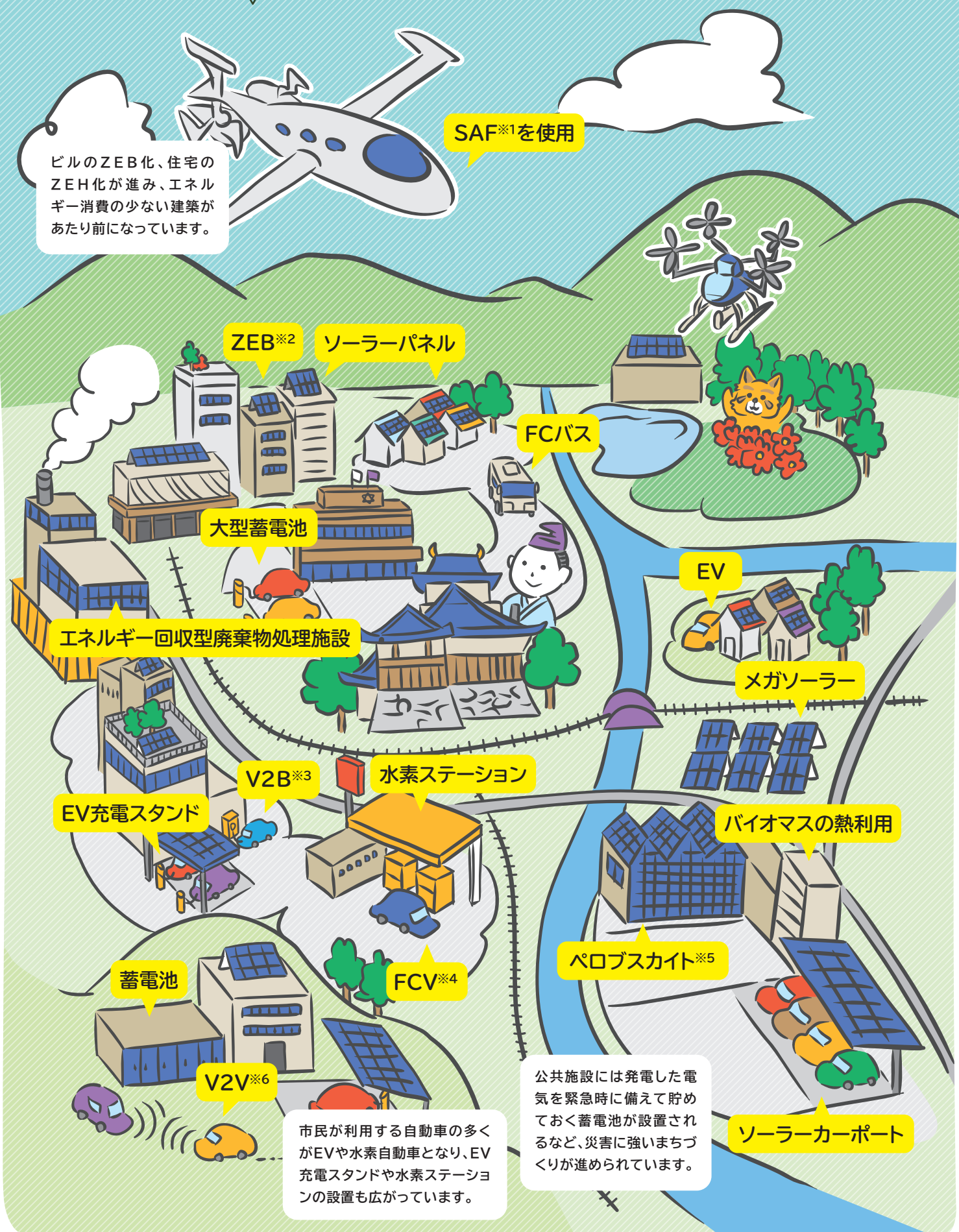


三段池公園総合体育館



電気自動車とV2B(充放電設備)

福知山市がめざす将来像



ビルのZEB化、住宅のZEH化が進み、エネルギー消費の少ない建築があたり前になっています。

SAF*1を使用

ZEB*2

ソーラーパネル

FCバス

大型蓄電池

エネルギー回収型廃棄物処理施設

EV

メガソーラー

V2B*3

水素ステーション

EV充電スタンド

バイオマスの熱利用

蓄電池

FCV*4

ペロブスカイト*5

V2V*6

ソーラーカーポート

市民が利用する自動車の多くがEVや水素自動車となり、EV充電スタンドや水素ステーションの設置も広がっています。

公共施設には発電した電気を緊急時に備えて貯めておく蓄電池が設置されるなど、災害に強いまちづくりが進められています。

※1 SAF: 持続可能な航空燃料と呼ばれる二酸化炭素の排出が少ない燃料。

※2 ZEH・ZEB: エネルギー消費が少なく、必要な電気を太陽光発電などで自分で生み出せる住宅(ZEH)、ビル(ZEB)。

※3 V2H・V2B: 自動車と家や建物(ビル)の間で電気をやり取りできるシステム。

※4 FCV: 水素と酸素の化学反応によって発電した電気エネルギーで走る燃料電池自動車のこと。

規模の小さい河川や農業用水を活用した小水力発電、森林の整備と木材のバイオマス利用等、地域の環境を活用した再生可能エネルギーの導入が進んでいます。

木質バイオマス※7

農地や広い土地を活用した太陽光発電設備の導入が進み、自然体でエネルギーを自給自足できる体制づくりが進んでいます。

小水力発電

ZEH※2・EV

ペレット・薪ストーブ

V2X※6

V2H※3

ソーラーカーポート

下水汚泥エネルギー※8

メガソーラー

ソーラーシェアリング

ソーラーパネル

住宅には太陽光発電設備が設置され、災害等における停電時にも各家庭で必要な電気をつくり出せるようになっています。

家庭・公共施設・事業所・工場・駐車場の屋根等、まちのいたるところに太陽光発電設備が設置され、市内で利用する電気が賅われています。

みどりのカーテン

※5 ペロブスカイト:太陽光発電の新しい技術で、軽くて柔軟な素材を用いるため、建物の壁などこれまでに設置できなかったところにも発電設備を設置できるようになる。

※6 V2V・V2X:車と車(V2V)または車と車以外の歩行者や建物等(V2X)の間で情報通信ができるシステム。

※7 木質バイオマス:木を切ったり、木材にするときに発生した樹皮や木くずなどをエネルギーとして有効活用すること。

※8 下水汚泥エネルギー:汚泥を燃料に熱として有効活用したり、発電したりすること。

計画に基づくこれからの環境問題への取組

省エネを推進しよう

家庭や職場でできること

- 住宅や事業所において、消費するエネルギーと太陽光発電などで創るエネルギーが釣り合うZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）・ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を導入したり、断熱改修を行うことで、エネルギー消費を抑え、CO₂排出の削減につながります。
- 空調設備やガス機器等の適切な利用や、省エネ効果の高い家電・照明への切替、みどりのカーテンの導入等により、電気・ガス料金の節約とともに、CO₂排出の削減につながります。
- 事業所の省エネルギー診断等を行うことで、非効率なエネルギー利用を見直し、効果的な省エネのための取組を明らかにすることができます。

福知山市の取組

- 新築住宅におけるZEHの導入や、住宅の断熱改修を促進する支援等に取り組みます。
- 企業・事業所向け省エネ・再エネアドバイスをを行います。



- 金融機関と連携して、省エネリフォーム、設備導入に係る融資のシステムの導入を図ります。
- LED電球への切替や、エネルギー効率を高める施設・設備の更新等、公共施設における省エネを推進します。

再生可能エネルギーを利用しよう

家庭や職場でできること

- 地域新電力会社が提供する再生可能エネルギー由来の電力に切り替えることで、電気利用における環境負荷を抑えることができます。これは同時に、電気料金の支払先が地域の企業に移ることで、地域経済の活性化にもつながります。
- 住宅用太陽光発電設備や太陽熱・地中熱を利用した給湯・空調設備の導入、ソーラーカーポートの導入、木質バイオマスペレットの活用など、家庭や職場で再生可能エネルギー利用を広げることができます。

福知山市の取組

- 公共施設における再生可能エネルギー由来の電力利用を引き続き拡大します。
- 公共施設における太陽光発電設備や災害時の電力供給に利用可能な蓄電池の導入を促進し、CO₂の排出削減と地域防災力の向上に取り組みます。
- 下水汚泥を固形燃料として再利用するなど、循環サイクルを確立するための新しい処理施設の整備を進めています。



～市民・事業者の皆さんと一緒に取り組みたいこと～

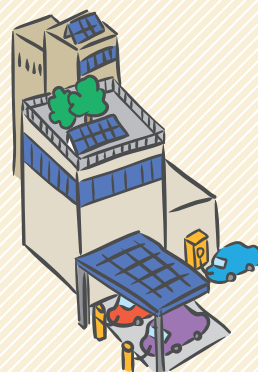
環境にやさしい交通手段を選択しよう

家庭や職場でできること

- 交通・運輸部門のエネルギー消費量は、市全体のエネルギー消費の2割近くを占めており、それによるCO₂の排出はガソリン車によるものが大半を占めています。家庭や職場で利用する自動車をEV(電気自動車)に替えることで、CO₂の排出を大きく削減することができます。
- ガソリン車を利用する場合でも、市民一人ひとりがエコドライブを心がけたり、1台を共同で使うカーシェアリングを行うことで、CO₂の削減につながります。
- 通勤や余暇活動においても、自家用車ではなく自転車や公共交通機関を利用する人が増えることで、市全体で排出されるCO₂を削減することができます。

福知山市の取組

- EVの普及に必要なEVステーション(充電設備)の設置に取り組んでいます。
- 市公用車について、EV等次世代自動車への代替を進めています。また、EV等を「動く蓄電池」として災害等の非常時に備えるほか、イベント等でも活用します。



豊かな環境を守り、次世代に引き継ぐ活動に参加しよう

家庭や職場でできること

- 由良川や里山の自然を守るプロジェクト、環境セミナー、ごみの減量と生ごみの堆肥化による資源の有効利用、みどりのカーテンの実施等、これまで市民協働で取り組んできた豊かな環境を守るための活動について知り、参加しましょう。
- 市内で地域課題解決に取り組むNPO法人・団体・教育機関等や、SDGs達成に向けた商品サービスの提供・開発、課題解決活動等に積極的に取り組む企業を「福知山市SDGsパートナー」として登録しています。それぞれの団体や企業でできることがないか、考えてみましょう。
- 市民出資による公共施設への太陽光発電設備の設置のように、市民が参加でき、地域に利益のある事業に参加しましょう。



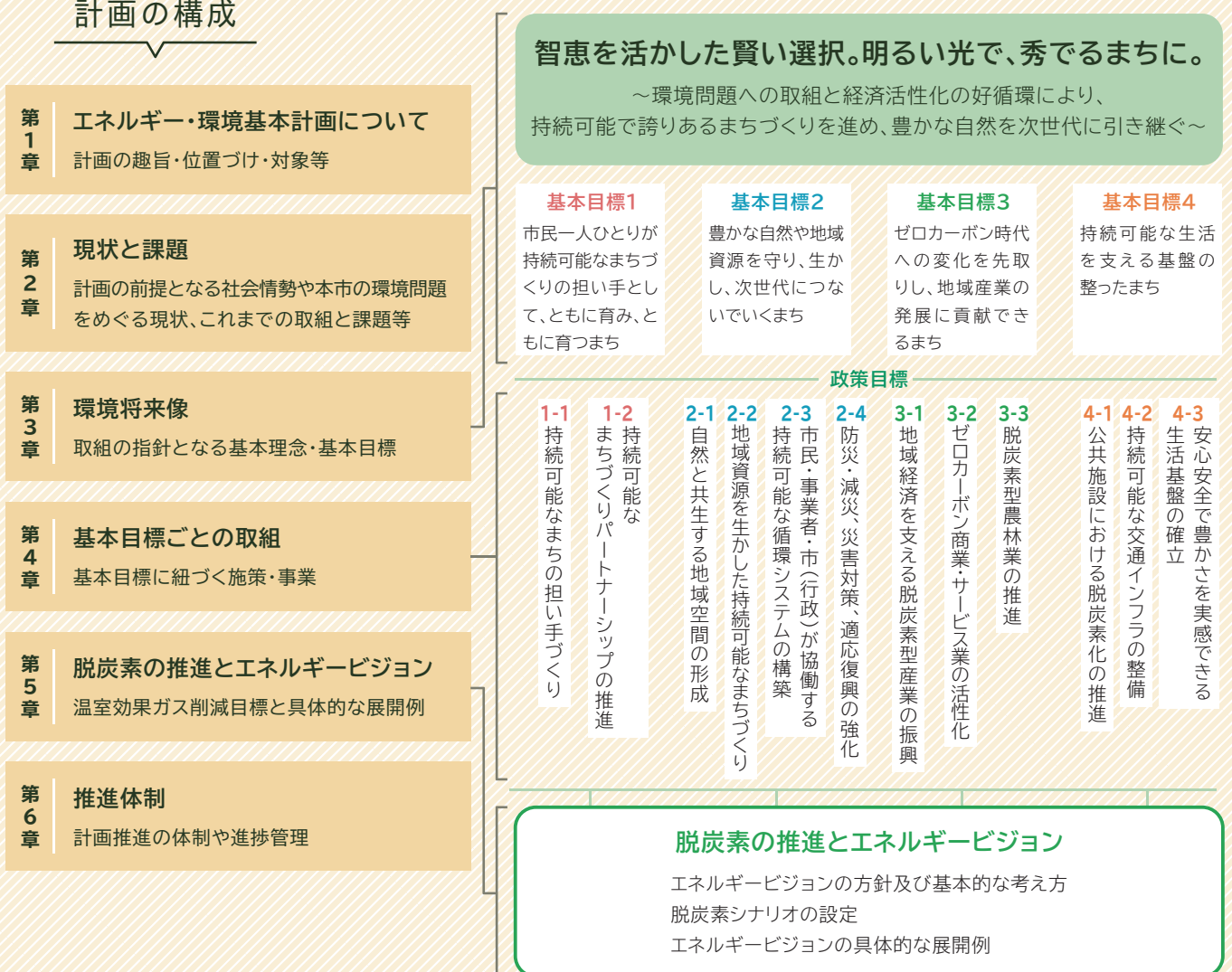
福知山市の取組

- 福知山市の環境問題への取組について、行政とともに話し合い、行動する市民や事業者が集う場をつくっていくことを検討しています。これまで関わってこられた市民の方々とも連携しながら、呼びかけを行います。
- 環境問題やSDGsについて、学ぶことのできるツールや講座など、知る機会の増加を図ります。
- 本計画やそれに基づく取組について、多くの市民が知ることができるよう、様々な手段を活用して積極的な周知・啓発を行います。
- 環境を守り、次世代に引き継ぐ取組について知り、行動する人が増えることで、持続可能なまちづくりが福知山市の特徴であり市民の誇りとなるよう、取り組んでいきます。

エネルギー・環境基本計画とは

- 本計画は、総合的な市政運営の指針である「まちづくり構想 福知山」を環境面から総合的かつ計画的に推進する分野別計画です。
- これまで本市が展開してきた、市民とともに環境を守り・育む活動を引き継ぐとともに、地球温暖化問題やゼロカーボンシティの実現といった新しい課題に対応するため、環境を守る行動を、まずは本市がどのように進めていくのか、その具体的な方向性や施策を明らかにし、市民・事業者の皆さんとともにどのように環境問題に取り組もうとしているのかを示すために策定しました。
- 本市の未来に対する責任に向き合い、行政だけではなく、市民・事業者の皆さんとともに持続可能な福知山市をつくっていくための計画です。

計画の構成



福知山市エネルギー・環境基本計画の全体については、右下のQRコード、または下のURLから表示される福知山市エネルギー・環境戦略課のホームページから、閲覧することができます。この冊子で紹介できなかったものを含めて、福知山市が環境問題についてこれからの10年どのような施策を進めようとしているか、ゼロカーボンシティの実現に向けてどのように取り組もうとしているかを見ることができます。関心のある方は、ぜひご覧ください。

<https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/soshiki/72/>



福知山市エネルギー・環境基本計画 概要版

発行日：令和5年3月

発行：福知山市 編集：福知山市エネルギー・環境戦略課
〒620-8501 京都府福知山市字内記13番地の1

TEL:0773-48-9554(直通)

FAX:0773-23-6537